

# NHK交響楽団 年表 1926–2025

中村洪介・西村理 [編]

## 分冊⑤：1966–1975

- \* 本年表はNHK交響楽団関連項目、社会および音楽界のおもな出来事の2欄にわけて構成している
- \* 1926–1986年の年表は中村洪介による（『NHK交響楽団五十年史』『NHK交響楽団六十年史』の年表をもとに編集）
- \* 1987–2025年の年表は西村理による

### 主要参考文献

- 『曲目と解説』『フィルハーモニー・パンフレット』『音楽雑誌フィルハーモニー』『日本交響楽団誌』『フィルハーモニー』  
『近代日本総合年表』（岩波書店、1968）  
『朝日年鑑』（朝日新聞社）、『毎日年鑑』（毎日新聞社）、『読売年鑑』（読売新聞社）  
『NHK年鑑』（日本放送出版協会）  
『音楽年鑑』（音楽之友社）  
『音楽之友社25年のあゆみ』（音楽之友社、1966）  
『放送50年史 資料編』（日本放送協会、1977）  
『日本メディア史年表』（土屋礼子編、吉川弘文館、2018）  
『20世紀放送史』（日本放送協会編、日本放送出版協会、2001）  
『NHK放送100年史』（NHK編、NHK出版、2025）  
M. E. Cullen: *Memorable Days in Music* (The Scarecrow Press Inc., 1970)  
*Baker's Biographical Dictionary of Musicians* (G. Schirmer, 1971)  
*Riemann Musik Lexikon, Ergänzungsband Personeerteil* (Schott's Söhne, 1972)

### オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」（朝日新聞）、「毎策」（毎日新聞）、「ヨミダス」（読売新聞）、「サントリーホール公演アーカイブ」（サントリーホール）

制作：公益財団法人 NHK交響楽団  
©NHK Symphony Orchestra, Tokyo, 2025  
編集協力：株式会社アルテスパブリッシング





	N 響	社会・音楽界
	1969年2月16日	岩城宏之に本団「正指揮者」の称号を贈る
	1969年2月17日	2月14日来日したウィーン・フィルハーモニー管弦楽団と本団楽員との親善交歓パーティを演奏所で開く
	1969年2月20日	エルネスト・アンセルメ（指揮）没
	1969年2月20～22日	NHKの派遣により、戦後初めて韓国を訪問（29年ぶり、3度目）、ソウル特別市において3回公演。指揮岩城宏之。独奏申秀貞（2月19日出発、23日帰国）
	1969年2月23日	コンスタンティン・シルヴェストリ（指揮）没
	1969年2月26日	カール・ヤスパース（哲学）没
	1969年3月14・19日	第9回NHK音楽祭「創作歌劇の夕べ」（清水脩《賀運び》）、「N響の夕べ」に出演
	1969年4月1～24日	中共第9回全国代表大会。文化大革命に一応のしめくくりつく
	1969年4月29日	第12回大阪国際フェスティバルで初めて邦楽を公演
	1969年5月1日	好景気連続43か月目入り、戦後最長
	1969年6月15日	内田光子、ベートーヴェン国際音楽コンクールで優勝
	1969年6月17日	「ヴァン・クライバーン、ピアノ演奏会」に出演
	1969年7月5日	ウィルヘルム・バックハウス（ピアノ）没
	1969年7月20日	米アポロ11号月面に着陸、月面に人類の第1歩を印す。10月31日、日本政府、アポロ飛行士に異例の文化勲章授与を決定
	1969年7月27日	NHK厚生文化事業団主催による心身障害児のための第1回「NHKサマー・コンサート」に出演
	1969年8月21日	英紙、ソ連のピアニスト、ウラディーミル・アシュケナージの英国亡命を報道
	1969年9月7日	ウィーン国立歌劇場首席オーボエ奏者、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団楽員カール・マイヤー・ホーフナーを1年間客員演奏者に招く（翌年7月1日離日）
	1969年9月17日	野村光一、ポーランド政府から復興ポーランド・コマンドー十字勲章を授与される
	1969年10月20日	渡辺範彦、フランスの国際ギター・コンテストで第1位入賞
	1969年11月1日	遠山音楽財団付属図書館新発足、開館披露パーティ
	1969年9月30日～10月10日	「N響弦楽四重奏団」（海野義雄、堀伝、奥邦夫、小野崎純）、オーストラリアのキャンベラ・スプリング・フェスティバルに招かれ、キャンベラ劇場で2回公演。帰途沖縄米軍基地内のブルックナー劇場でも演奏
	1969年11月15日	伊藤整（小説）没
	1969年12月15日	日本楽器製造(株)の集計によれば、今年度日本のピアノ生産台数は252,446台でアメリカの約25万台を上回る
	1969年11月9日～12月6日	外務省派遣の文化使節として北米を訪問、アメリカ合衆国19都市、カナダ1都市で21回公演。指揮岩城宏之。独奏海野義雄、中村絃子（11月6日出発、12月9日帰国）
<b>1970</b> 昭和45年	1970年1月4日	大河ドラマ『縦ノ木は残った』（テーマ音楽：依田光正、指揮：岩城宏之、笛：福原百之助）放送開始
	1970年1月20日	鳥井音楽賞第1回受賞者小林道夫に決定
	1970年1月30日～12月16日	「ベートーヴェン生誕200年記念音楽会」5期43回の演奏会開催
	1970年2月11日	東大宇宙航空研、初の国産人工衛星「おおすみ」を発射
	1970年3月14日	日本万国博覧会（EXPO'70）開会式式典に出演。3月15日、6月24日、9月12日、万博協会主催音楽シリーズの中、オープニングとクロージングを合わせ3回出演
	1970年3月15日～9月13日	日本万国博覧会開催。77か国参加、64,218,770人入場
	1970年3月17日	読売日響、労働組合を結成
	1970年3月31日	鈴木乃婦（アルト）没
	1970年3月31日	赤軍派、日航機「よど号」を乗っ取る
	1970年4月15日～5月14日	ベートーヴェン生誕200年にちなみ、第538回～第543回定期公演の曲目すべてをウォルフガング・サヴァリッシュ指揮によるベートーヴェン作品にあて、9つの交響曲、《合唱幻想曲》、《莊厳ミサ曲》、序曲4曲を連続演奏
	1970年4月16日～8月14日	「NHKシンフォニー・ホール」ベートーヴェン・シリーズとして、ピアノ協奏曲全曲、交響曲全曲、《ミサ・ソレムニス》を17回にわたって放送。指揮ウォルフガング・サヴァリッシュ（全交響曲、合唱曲）、森正（協奏曲）。ピアノ独奏ウィルヘルム・ケンプ
	1970年5月19日～6月25日	宮内庁雅楽部欧州演奏旅行。1959（昭和34）年の米国公演以来
	1970年6月22日	政府、日米安保条約の自動延長を声明。6月23日、安保闘争史上最大の反安保統一行動全国で起こる
	1970年7月27日	ソ連・西独、相互武力不行使宣言本格交渉開始。8月7日条約仮調印
	1970年7月29日	ジョン・バルビローリ（指揮）没
	1970年7月30日	ジョージ・セル（指揮）没
	1970年9月	「ワルシャワの秋」へ日本のオペラ初参加。国民歌劇協会の一行26人訪ボ
	1970年9月13日	常務理事・事務長に長谷恭男就任
	1970年9月28日	アンドレ・ジョリヴェ来日記念作曲公開レッスン
	1970年9月30日	長坂好子（ソプラノ）没
1970年10月11日	クロード・ロスタン（音楽評論）没	
1970年10月14日	読売新聞社主催「ベートーヴェン生誕200年記念連続演奏会」全43夜の中、第4期交響・協奏作品の夕べに出演	
1970年10月22日	サンソン・フランソワ（ピアノ）没	
1970年10月24日	外務省主催「国連創立25周年記念中央祝賀大会」に出演	
1970年11月21～23日	第1回東京国際歌謡音楽祭開催	
1970年11月25日	三島由紀夫ら陸上自衛隊東部方面總監部でクーデターを呼びかけ失敗、割腹自殺	

	N 響	社会・音楽界
	1970年12月	14年ぶりに本団名誉指揮者ジョセフ・ローゼンストックをアメリカから招聘（11月25日来日、12月11日離日）
	1970年12月20日	沖縄コザ市で市民5,000人、米軍の車73台に放火、米基地内の小学校焼打ち
<b>1971</b> 昭和46年	1971年1月3日	大河ドラマ『春の坂道』（テーマ音楽：三善晃、指揮：森正、チェロ：小野崎純）放送開始
	1971年1月11日	喜多六平太（能楽）没
	1971年1月22日	東京都響労働組合結成
	1971年2月17〜20日	中華民国放送協会の要請によるNHKの派遣で台北市を訪問、4回公演。指揮岩城宏之、ヘレン・コーク。独奏田中千香士、藤田梓。台湾全土にラジオ、テレビジョンを通じて中継放送（2月16日出発、21日帰国）
	1971年2月20日	第1回福山賞のピアニスト受賞者野島稔に決定
	1971年3月6日	成田空港用地の強制代執行、第1次作業終わる
	1971年3月7・11日	第10回NHK音楽祭「協奏曲の夕べ」、「バレエの夕べ」に出演
	1971年4月	この月の定期公演からA、B、C、D席のほか新たにE席を設ける。会員券料金A券1,400円、B券1,200円、C券1,000円、D券800円、E券600円
	1971年4月3日	指揮研究員尾高忠明、「NHKコンサート・ホール」公開録音でデビュー
	1971年4月6日	イーゴリ・ストラヴィンスキー（作曲）没
	1971年4月15日	「東京厚生年金会館10周年記念演奏会」に出演
	1971年4月18日	大木正夫（作曲）没
	1971年4月19日	N響労働組合結成、委員長奥邦夫
	1971年4月19日	日本演奏家協議会発足。クラシックからポピュラーまでの演奏家、17楽器別1,300名が加入。委員長浜坂福夫
	1971年4月24日	元常任指揮者ウィルヘルム・ロイブナー、心筋硬塞のため死去
	1971年5月3日	津川主一（教会音楽）没
	1971年5月10日	箕作秋吉（作曲）没
	1971年5月25日	理事長に長澤泰治就任。1973（昭和48）年8月31日まで在任
	1971年5月28日	「安川加寿子楽壇生活30周年記念演奏会」に出演
	1971年6月13日	『ニューヨーク・タイムズ』、米のインドシナ介入に関する国防総省秘密報告書をスクープ、掲載開始
	1971年6月17日	沖縄返還協定調印
	1971年6月30日	イタイイタイ病損害賠償請求訴訟判決、患者・遺族側全面勝訴
	1971年7月1日	常務理事に佐々木宗夫就任
	1971年7月1日	環境庁発足（公害行政の一元化）
	1971年7月1日	日本医師会、保健医総辞退に突入
	1971年7月5日	「東京郵便貯金会館ホール落成記念演奏会」に出演
	1971年7月15日	米・中、ニクソン訪中計画を発表
1971年7月26日	ベルンハルト・バウムガルトナー（音楽学）没	
1971年8月6日	ファウスト・クレヴァ（指揮）没	
1971年8月14日	ニクソン米大統領、ドル防衛策発表（ニクソン・ショック）	
1971年9月1〜23日	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第6回）に出演。《ノルマ》、《トゥーランドット》、《リゴレット》、《ラ・ファヴォリータ》を東京で18回公演。指揮オリヴィエロ・デ・ファブリティス、ロヴロ・フォン・マタチッチ	
1971年9月27日	天皇・皇后両陛下ヨーロッパ7か国親善訪問に出发。アンカレッジでニクソン米大統領夫妻と会見	
1971年10月9日	「イストミン、スターン、ローズ、トリオ協奏曲の夕べ」に出演。指揮秋山和慶	
1971年10月25日	中国の国連復帰決定（台湾脱退）	
1971年12月	東ドイツからオットマール・スウィトナーを客演指揮者に招聘（11月30日来日、12月26日離日）	
1971年12月19日	日フィル、「第9」演奏会を団交決裂スト突入のため中止。日本音楽史上初の音楽ストライキ	
1971年12月24日	厚生省、この年の人口動態統計発表。出生は戦後2回目のベビー・ブーム、結婚・離婚はいずれも史上最高	
<b>1972</b> 昭和47年	1972年1月1日	モーリス・シュヴァリエ（俳優、歌手）没
	1972年1月2日	大河ドラマ『新・平家物語』（テーマ音楽：富田勲、指揮：森正、琴：桜井英頭）放送開始
	1972年1月24日	グアム島で元日本兵横井庄一発見
	1972年1月26日	「ジョン・ブラウニング、N響特別演奏会」に出演
	1972年1月29日	「札幌オリンピック冬季大会芸術行事―NHK交響楽団演奏会」に出演。1月30日「札幌オリンピック開会式典」に出演
	1972年2月3〜13日	第11回冬季オリンピック大会、札幌で開催
	1972年2月16日	妙義山中で連合赤軍の2人逮捕。19日、連合赤軍5人、人質をとって軽井沢浅間山荘に籠城。28日、警察強行作戦で人質救出、全員逮捕（浅間山荘事件）
	1972年2月18日	「ビエール・フルニエ、N響特別演奏会」に出演
	1972年2月21日	ニクソン米大統領、中国訪問
	1972年2月28日	日フィル、第235回定期演奏会でベリオーズ《テ・デウム》日本初演
	1972年3月1日	日フィル理事者側、フジテレビ、文化放送の日フィル財団への運営資金打切りを発表。6月30日財団解散。7月1日新日本フィル誕生
	1972年3月13・19日	第11回NHK音楽祭「バレエの夕べ」、「N響の夕べ」に出演
	1972年3月15日	日本プロ合唱団連合同定期演奏会において三善晃《レクイエム》を初演。指揮岩城宏之
	1972年4月12・13日	第15回大阪国際フェスティバル「アレクシス・ワイセンベルク・N響演奏会」、「N響演奏会」に出演
	1972年4月16日	川端康成（小説）自殺
	1972年4月29日	マンフレート・グルリット（指揮）没。5月18日千日谷会堂葬祭場で音楽葬

	N 響	社会・音楽界
	1972年4月30日	
	1972年5月15日	沖縄の施政権返還。沖縄県発足
	1972年5月22日	ビクター音楽産業株式会社設立
	1972年6月7日	日本芸術院賞受賞者小澤征爾、授賞式前に日フィル問題を天皇に「直訴」
	1972年6月26日	東京アカデミー合唱団、ドビュッシー《聖セバスティアンの殉教》日本初演
	1972年7月6日	佐藤内閣総辞職（連続最長新記録）。7月7日、田中角栄内閣誕生
	1972年7月31日・8月1日	
	東京シティ・バレエ団第4回公演においてチャイコフスキー《眠りの森の美女》を日本で初めて全曲演奏。指揮若杉弘	
	1972年8月28日～9月30日	
	NHKの派遣によりスイス、フィンランド、イギリス、西ドイツ、オーストリア、ユーゴスラビアの6か国17都市を訪問。ルツェルン音楽祭、ヘルシンキ音楽祭、ミュンヘン・オリンピック芸術展示公演、モントルー音楽祭、ベルリン音楽祭の出演を含み20回の公演を行う。指揮岩城宏之。独奏中村絃子、潮田益子	
	1972年9月19日	ロベール・カサドシュ（ピアノ）没
	1972年9月25～30日	田中首相訪中、周首相と会談、日中国交正常化達成で合意
	1972年10月1日	職能労働組合日本演奏家協会（ユニオン日演協）設立
	1972年11月	
	この月の定期公演からA、Bチクルスのほか、Cチクルス2日間の公演を行う。新会員3,000人増加	
	1972年11月3日	柳兼子、芸術院会員となる
	1972年11月5日	上野動物園でパンダ初公開
	1972年11月30日	作曲家の会「トランソニック」発足
	1972年12月17日	米軍機、ベトナムの北爆再開
	1973年1月7日	
	大河ドラマ『国盗り物語』（テーマ音楽：林光、指揮：森正）放送開始	
	1973年1月9日	オットマール・スウィトナーに本国「名誉指揮者」の称号を贈る
	1973年1月11日	
	1973年1月27日	
	1973年2月	
	西ドイツからホルスト・シュタインを客演指揮者に招聘（1月29日来日、2月18日離日）	
	1973年2月11日	
	1973年2月26・27日	本土復帰後初の沖縄演奏会
	1973年3月18日	
	1973年3月27日	「現代の音楽展'73」第4夜——オーケストラ作品の夕べ——に出演
	1973年4月5日	
	1973年4月11日	
	1973年5月	
	1973年5月1日	中館輝厚、小松一彦指揮研究員となる
	1973年5月2日	
	1973年5月10～18日	
	1973年5月17日	
	1973年6月2日	顧問近衛秀麿、脳内出血のため死去。享年74歳
	1973年6月5日	
	1973年6月11～18日	
	1973年6月14日	
	1973年6月20日	
	渋谷区神南2丁目に新NHKホール開場、落成式典に出演。6月23日イージ・ラインベルガーを迎え「オルガンの夕べ」を開催。指揮ヴォルフガング・サヴァリッシュ	
	1973年8月1日	第1回プロムナード・コンサート
	1973年8月2日	
	1973年8月8日	
	1973年9月1日	理事長に杉本亀一就任
	1973年9月8～29日	
	NHK主催「イタリア歌劇団公演」（第7回）に出演。《アイーダ》、《ファウスト》、《椿姫》、《トスカ》を東京で14回公演。指揮オリヴィエロ・デ・ファブリチイス、ポール・エテュアン、ニーノ・ヴェルキ	
	1973年9月21日	
	1973年9月25日	
	1973年9月29日	
	この月の定期公演から会場を渋谷区神南のNHKホールに移し、新たに約3,000名の定期会員を増募、直ちに満席となる。Cチクルスは1日減。定期会員総数約19,000人	
	1973年10月	
	1973年10月6日	第4次中東戦争始まる
	1973年10月22日	パブロ・カザルス（チェロ）没
	1973年10月23日	江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞
	1973年10月30日	齋藤秀雄、文化功労者に選ばれる
	1973年11月16日	政府、石油緊急対策要綱決定。各地で主婦ら、買いだめに殺倒（オイル・ショック）
	1973年11月19日	第1回ウィナーワールド・オペラ賞贈呈式。大賞木村俊光
	1973年11月24～28日	
	NHKの派遣により音楽文化使節としてインドネシアおよびオーストラリアを訪問、ジャカルタとシドニーで5回公演（シドニー公演は同市のオペラ・ハウス落成記念催し物の一つ）。指揮岩城宏之。独奏田中千香土、鶴田錦史、横山勝也	
	1973年12月4日	鹿児島交響楽団第1回定期演奏会
	1973年12月11日	平尾貴四男20周年追悼記念演奏会

# 1973

昭和48年

# 1974

昭和49年

1974年1月	この月の定期公演に、客演指揮者として秋山和慶を迎える
1974年1月6日	大河ドラマ『勝海舟』（テーマ音楽：富田勲、指揮：岩城宏之）放送開始
1974年1月7〜17日	
1974年1月8日	
1974年1月20日	
1974年2月5日	
1974年2月13・14日	第623回定期公演でシュトックハウゼン《3つのオーケストラのためのグループ》を日本初演。指揮岩城宏之、尾高忠明、小松一彦
1974年3月5・6日	
1974年3月10日	
1974年3月17日	
1974年3月21日	
1974年4月	この月の定期公演に、戦後初のソ連からの定期客演指揮者マキシム・ショスタコーヴィチを迎え、父ドミートリの作品を演奏
1974年4月1日	元理事長前田義徳、前理事長長澤泰治、本団名誉顧問に就任
1974年4月12日	弦楽器奏者採用のオーディションを行う。ヴァイオリン5名、チェロ3名が参加
1974年4月23〜25日	
1974年5月4日	
1974年5月27日	元常任指揮者ウィルヘルム・シュヒター、脳溢血のため死去。享年62歳
1974年6月〜9月	N響編『楽譜の世界』全3巻、日本放送出版協会から刊行
1974年6月22日	
1974年6月27日	
1974年7月	
1974年7月15日	
1974年8月15〜20日	
1974年8月30日	
1974年9月	この月の定期公演に、客演指揮者として飯守泰次郎を迎える。N響初指揮
1974年9月	この月の定期公演からCチクルスを再び2日間公演とし、新たに定期会員3,200人を増募。定期会員継続方法を一部変更、銀行振込みは廃止、会場受付を会場渡しとする。N響事務所、N響ガイドでの受付は従来通り
1974年9月18日	
1974年10月8日	
1974年10月9日	「中村絃子ピアノ協奏曲の夕べ」に出演
1974年10月24日	
1974年11月1日	中国中央楽団との交歓会をN響演奏所で催す
1974年11月25日〜12月17日	
1974年11月26日	
1974年12月1日	
1974年12月17日	
1974年12月19日	

# 1975

昭和50年

1975年1月	この月の定期公演から会費を改訂。A券2,000円、B券1,800円、C券1,600円、D券1,400円、E券1,000円
1975年1月〜2月	第649回〜第652回定期公演の客演指揮者にミハエル・ギーレンを招く（1月11日来日、2月8日離日）
1975年1月5日	大河ドラマ『元祿太平記』（テーマ音楽：湯浅譲二、指揮：若杉弘）放送開始
1975年1月8日	第1回「若い芽のコンサート」に出演
1975年1月8日	
1975年1月16日	
1975年1月18日	「神奈川県立県民ホール開館記念・N響演奏会」に出演
1975年3月3日	ホルスト・シュタインに本団「名誉指揮者」の称号を贈る
1975年3月11日	NHK放送開始50周年記念、「N響の夕べ」に出演。指揮ホルスト・シュタイン
1975年3月16日	
1975年3月18日	NHKの招きで来日したウィーン・フィル、本団演奏所でカール・ベームの指揮により練習を行う。夜、ウィーン・フィル歓迎レセプション
1975年4月7日	第18回大阪国際フェスティバル開幕式に出演。指揮岩城宏之。独奏アレクシス・ワイセンベルク。4月8日も同フェスティバルに出演。4月17日東京で「ワイセンベルク、ピアノ協奏曲の夕べ」に出演（指揮森正）
1975年4月19・20日	
1975年4月30日	
1975年5月2日	
1975年5月22日	「カンタータと協奏曲の夕べ」に出演。指揮エドワード・セーロフ。独奏レオニード・コーガン、独唱エレナ・オブラズツォワ、合唱国立ロシア合唱団
1975年5月26日	「ウラディーミル・アシュケナージ協奏曲の夕べ」に出演
1975年6月	入場料法の改正により、定期会員に会費の一部を払い戻す
1975年6月12日	
1975年6月27日	

	田中首相、東南アジア5か国訪問。15日ジャカルタで反日デモ
	レフ・オボーリン（ピアノ）没
	林リリ子（フルート）没
	永井進（ピアノ）没
	第1回日本・ポーランド現代音楽祭第一生命ホールで開催
	小野田元少尉、30年ぶりにルバング島から救出、12日帰国
	高松市郊外の日本キリスト教団屋島教会で四国初のパイプ・オルガン奉獻演奏会
	大橋国一（バス、バリトン）没。4月1日音楽葬
	オペラ小劇場「こんにゃく座」朝日生命ホールで旗上げ公演
	福井交響楽団第1回定期演奏会
	ダリウス・ミヨー（作曲）没
	ニクソン米大統領辞任
	菅原淳、国際打楽器コンクール1位
	東京五重奏団第1回演奏会
	東京大丸でフルトヴェングラー没後20周年記念写真展開く
	東京・丸の内の三菱重工ビルで時限爆弾爆発、死者8人、重軽傷者288人（企業連続爆破事件）
	齋藤秀雄（チェロ、指揮）没
	佐藤前首相、ノーベル平和賞受賞
	ダヴィット・オイストラフ（ヴァイオリン）没
	日本音楽集団、文化交流推進のため東南アジア各国を訪問
	田中首相、「政局の混迷を招いた」責任をとって辞意表明（金脈認めず）
	カバレフスキー《レクイエム》日本初演。指揮山口貴。作曲者来日
	経済対策閣僚会議初会合。安定成長への路線転換
	アンドレ・ジョリヴェ（作曲）没
	リチャード・タッカー（テノール）没
	IMF暫定委ワシントンで開催。金の公定価格廃止の共同声明
	第3回「民音現代音楽祭」で坪能克裕、八村義夫、平吉毅州、間宮芳生作品を演奏
	東京渋谷の音楽喫茶店「ジャン・ジャン」、《トスカ》でオペラ・シリーズ開幕
	南ベトナム解放軍、サイゴンに無血入城。臨時革命政府全権掌握
	コンチータ・バディア（ソプラノ）没
	小森宗太郎（打楽器）没
	ローベルト・シュトルツ（作曲）没

1975年7月17日		ソ連のソユーズ19号、米のアポロによる史上初の国際ドッキング成功
1975年7月17日		沖縄訪問中の皇太子夫妻、ひめゆりの塔前で火炎ビンを投げつけられる
1975年8月9日		ドミートリ・ショスタコーヴィチ（作曲）没
1975年9月3日		野島稔、前橋汀子、安田謙一郎、ピアノ・トリオ結成披露演奏会
1975年9月9日		第1回オルガン・コンクール本選会
1975年9月10日		ハンス・スワロフスキー（指揮）没
1975年10月2～30日		大阪フィル、ヨーロッパ公演
1975年10月13日		團伊玖磨《ちゃんちき》初演
1975年10月20日		颯田琴次（耳鼻咽喉科医）没
1975年10月29日		国連総会第1委で韓国支持派決議案北朝鮮支持派決議案をともに可決
1975年11月6日	第1回ゴールデン・ポップス・コンサート	
1975年11月7日		昭和50年記念、柴田南雄《ゆく河の流れは絶えずして》初演
1975年11月13日	「丁讃宇ヴァイオリン協奏曲の夕べ」に出演。指揮林元植	
1975年11月26日		公労協、空前のスト権ストに突入。国鉄全線がストップ（～12月3日）
1975年12月16日		久山恵子、東響の《第9》を指揮。女性指揮者による日本初の演奏
1975年12月18日		小原安正、スペイン政府から文化功労勲章を授与
1975年12月20日		パリでカラーテレビ放送開始